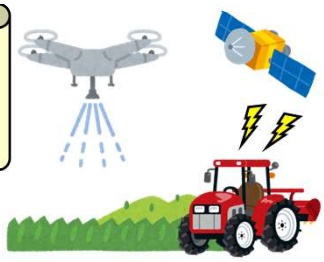


大崎農業改良普及センター
水田生産者向けスマート農業かわら版



第四版　～「地力・生育マップ」～



今回は営農管理システムの「地力・生育マップ」について説明するよ！
実際の栽培管理で、ほ場ごとに作物の生育ムラがあって施肥設計に苦労したり、毎日ほ場に足を運んで生育状態を確認することは大変だという経験はないかな？

その経験は常々感じているよ。例えばほ場の畦畔沿いが生育が抑えめで、中央部が生育が旺盛だったりするよ。それに作物に限らず雑草の生育も違いがあって、施肥や除草剤散布が大変だよ…
私の農地は年々拡大しているから、これまでは毎日農地を見て回って生育状態を確認していたけど、今ではほとんど無理だなぁ…





その問題、人工衛星を用いてほ場を真上から見ることで解決できるかもしれないよ！営農管理システムには登録したほ場をマップ機能で様々な状態で可視化することできるんだ！

過去の衛星画像をAIが解析し、
ほ場内の地力を可視化！

地力マップ

Xarvio®FIERD MANEGERを活用
※有料プラン





地力が高い箇所（≒生育が過剰になるリスク、雑草の発生が旺盛になる可能性）
→元肥の量を減らす、スポット的に除草剤を散布する

地力が低い箇所（≒生育が抑えられるリスク）
→元肥や堆肥の量を増やす



ほ場内の地力を把握できれば、一律の施肥設計を見直すことができ、肥料・除草剤の使用量の加減により、結果的に収量アップにつながるね！



生育ムラはかねてからの課題だったし、最近は肥料や農薬の価格が高騰しているから、少しでも節減できたらうれしいよ！
地力マップは主に作付の前段階で使用することが効果的だね！
一方で生育状況をリアルタイムで把握することはできるのかな？



安心して！各ほ場単位で生育状況をリアルタイムに把握できるもう一つのマップ機能があるんだ！

ほ場に雲がかかった日を除いて毎日更新されるから、効率的に生育状況を把握できる！

生育マップ

Xarvio®FIERD MANEGERを活用
※有料プラン







生育が悪い箇所には追肥を行い、生育が良い（過剰）箇所には追肥を控えることで、一律だった追肥量の調整（可変施肥）を行う。
※可変施肥については、別号で紹介します。

収量アップへ！

ほかにも様々なマップ機能があります！

・雑草マップ
作付前の雑草の発生状況を確認できます。雑草の被覆の変化を把握可能！
・平均植生（NDVI）マップ
ほ場における植生の生長度合いを数値化できます。複数のほ場間で比較可能なので、作業の優先度を判断可能！
・実際の衛星写真
実際のほ場状態が確認可能です。



様々なマップ機能を活用して、実際にほ場に行かなくても生育状態を把握できるのはとても便利だね！特にほ場同士が離れている場合は有効だよ！
経営者と社員等がアカウントを連携していれば、お互いが生育状態を把握でき、施肥判断や作業スケジュールなどの情報共有がスムーズにできるよ！